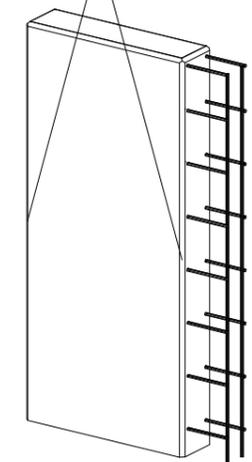


使用方法

1. JWWの標準機能での最低限度の使用方法
  - 1) 2.5Dアイコンをクリック
  - 2) 作図単位を mm で作成しているの、2.5D表示の単位を[mm]に指定
  - 3) 透視図をクリック
  - 4) 初期値アイコンをクリック
  - 5) 左右、上下、前後をクリックするとワイヤーフレームが動く
2. 外部変形を用いた最低限度の使用方法(陰線処理)
  - 1) あらかじめ、次のアドレスから外部変形の jwhide をダウンロード、解凍、jwwフォルダ直下に入れておく。  
<https://www.vector.co.jp/soft/winnt/business/se469270.html>
  - 2) 外変(外部変形)ボタンをクリックして、jwhide.bat をダブルクリック
  - 3) マウスは範囲指定の始点をクリックするように促しているの、合計で27個ある図形のうち、右上の W10 のマゼンタ(ピンク色)の図形を囲むように左クリックして、右下にマウスを移動して高さ情報の文字も選ぶように範囲指定の終点を右クリック(※1)する。  
 ※1. 範囲指定の終点を左クリックすると文字情報が選べないので必ず右クリックする。
  - 4) 選択確定のアイコンをクリックして、原点指定を図形の周囲でクリックすると jwhide の画面に切り替わる(※2)。  
 ※2. 外部変形中は jww の操作はできない。外部変形を終了すると jww の画面操作ができるようになる。
  - 5) jwhide の単位を mm に指定する。
  - 6) アイソメ、等角図、透視図のうち、透視図を選択する。
  - 7) 仮に、原点-視点 10 m、視点高さ 0.5 m、投影-原点 0 m、移動距離 0.1m に指定する。
  - 8) jwwと同じ操作で拡大する。
  - 9) マウスの左ボタンを押しながらドラッグするとワイヤーフレームの図形が左右上下に移動する。
  - 10) 陰線処理ボタンをクリックするとワイヤーフレームから陰線処理した図形に切り替わる。
  - 11) 陰線処理後の図形は画面内で一旦は固定されるため、画面内で再度アングルを変えるなどで動かしたい場合には透視図のボタンをクリックする。

頂点を持つ図形は線が現れるので削除しています。



種別	縦筋及び横筋
W10	D10_250@シングル
W12	D10_200@シングル
W15A	D10_150@シングル
W15B	D10_100@シングル
W18A	D10_200@ダブル
W18B	D10_150@ダブル
W20A	D10_200@ダブル
W20B	D10_150@ダブル

Mansikka